

■ 2グループ■ 自然と共生する循環型のまちづくり

≪ ① 長岡京市が抱える問題と解決に向けての課題 ≫

自慢できること 誇りに思うこと

豊かな自然が生活に近いこと

- ☐ 自然が生活に近い
 - ・気軽に緑や水に触れ合える。
 - ・西山に近い。西山の景観が好き

具体的な自然素材

★ ホテルが有名

- 小泉川のホテルが有名
→ 小泉川ではホテルを人工飼育している
- ホテルの祭りも行われており、たくさんの人が来る

★ 鳥が多い

- 美しい自然があるので鳥も多い
- 窓を開けると鳥が寄ってくる
- 小畑川にはたくさんの鳥が集まる

★ 水がおいしい

- 水がおいしい
- サントリーなども水を西山の天然水をブランド化している

★ 桜やつつじが美しい

- 桜がたくさんある
- 丹波街道の遊歩道の桜が美しい
- 光明寺のもみじが有名
- 市民団体が美しい花づくりを支えている

★ 竹やぶが多い

- 竹やぶが多い
- 竹やぶを使った芸術祭が行われている
- 竹を使ったあそび・ものづくり等もされている

★ 食材がおいしい

- たけのこがおいしい
- まちなかでたけのこが普通に売られている 他のまちでは考えられない

課題

開発

★ 開発により豊かな自然が失われつつある

- ☐ 自然は保全していくべき
- ☐ 開発と保全のバランスについてもっと考えていくべき
- ☐ 「自然が美しい観光都市」を目指していくべき

地下水・水道水

★ 水道水の水質は落ちているが、水道料金は上がっている

- ☐ 地下水保全の観点と市民への良質な水の提供の観点の両方の観点からの議論が必要

公園

★ 自然を活かした公園が少ない

- 手が入りすぎているか、全く手の入っていない公園のどちらからか状態

竹林

★ 竹林が荒廃してきている

- 竹林が荒廃してきている
- 西山が竹に侵食されてきている

- ☐ 雑木になるので管理が必要

市民意識

★ 市民の環境に対する意識が低い

- タバコのポイ捨て
- 河川のゴミ散乱
- 動物の排出物の放置

☐ 子供の時期からの環境教育が必要

- 自然の大切さを体験できる場が必要
- 自然の大切さを教えることのできる人材も必要

☐ 市民の意識を高める施策が必要

- 条例化すべき??
- 大きな目標を市が掲げるべき
ex. 京都議定書を必ず守る長岡京市」など

☐ 市民参加による場の管理が必要

- 里山制度、緑のサポーター制度のようなものを推進していくべき

水辺環境

★ 水辺環境が悪化している

- ゴミの放置
- ゴミ清掃時に河川に生息する動植物に配慮せず、ゴミの撤去を行っている

防災

★ 治水の問題

- 大雨になると浸水の被害が出る

☐ 自然環境を守りつつ治水対策を進めるべき

■ 2グループ ■ 自然と共生する循環型のまちづくり

《 ② まちづくりの方向性と施策のアイデア 》

テーマ	方向性 キャッチフレーズ)	施策アイデア	
安心・安全	市民のふれあい・信頼関係が支える安心・安全	★ 住民によるパトロール活動 ★ 近所づきあいの活性化 ・自治会活動の活性化 ・挨拶運動 ・ふれあいイベントの実施 ★ 災害時の連絡体制の整備	★ 監視カメラの設置 ★ 塀や生垣を低くする ★ 企業との防災協定の締結 ★ 携帯による防災・防犯情報の配信 ★ 防犯灯（太陽電池式？）の設置
緑環境・開発	西山の緑を大切にすまち	★ 緑を増やす開発（屋上緑化など） ★ 民地・産業地も緑化 ★ 高層ビルの高さ規制 ★ 自然・居住地域／産業地域を分ける ★ 古い建物を保存・活用する ★ 屋上緑化の推進	★ 桜の街道づくり ★ 竹林の保全活動 ・竹林十字軍の結成 ・竹林の保全活動を行う 竹林十字軍 の結成 ・竹を活用した産業の創出・観光商品の開発 ★ 環境会計簿の導入 ★ 企業と連携した里山の保全 ★ 西山を活用～西山の森づくり計画
水辺環境	ホタルが棲み続けられる水辺	★ ビオトープづくり	★ 地下水の保全 ・企業と連携した地下水保全活動の展開
水道水	おいしい水を安心して飲めるまち	★ 水に関する市民・行政の信頼づくり ・地下水に関する情報の積極的な公開 ・市民に分かりやすい形での情報提供 ⇒ 市民の間も水の現状について学習する必要あり	
市民意識	6Rをまもるまち <u>6Rとは</u> ○Reuse:再使用する ○Repair:修理する ○Reduce:省資源化する ○Refuse:拒否する ○Recycle:再資源化する ○Restrict:規制する	★ エコマネーの導入 ★ エコタウンの推進 ★ 6Rコンテストの実施	★ 環境教育 ★ バイオディーゼル車の導入

自治会活動の活性化

【目的】

自治会活動を活発化させることにより 市民のふれあい、信頼が支える安全・安心な環境づくりを目指す。

【具体的なアイデア】

- 誰もが入りやすい自治会づくり
- 自治会による防災・防犯情報の発信
- 独居老人世帯の把握
- 災害時の連絡体制の整備

竹林の適正管理と活用による西山保全

【目的】

西山は市の誇れる資源であり、市民の関心も強い。しかし現在、西山は竹林により侵食され、またその竹林も雑木化しつつある。竹林を適正に管理し、西山の保全を図るとともに、伐採した竹を有効に活用し、市の新たな産業・観光商品を創出する。

【具体的なアイデア】

- 竹林を管理・保全する「竹林十字軍」の結成
- 竹を利用したイベントの実施
- 竹を活用した産業・観光商品の開発

「水」に関する行政と市民の信頼関係づくり

【目的】

市民の水道水への地下水利用に対する思いが強い一方で、市民が地下水の現状について正しく認識していないことが本市民会議にて分かった。市は水に関する情報を積極的に開示し、水に対して市民が正しい認識をもつことで、水に関する行政と市民の信頼関係づくりを行い「地下水の保全」と「市民への良質な飲料水供給」が適切に行われる状態を目指す。

【具体的なアイデア】

- 水に関する積極的な情報開示
- 市民に分かりやすい形での情報提供
⇒ 市民の側も水の現状について学習する必要あり

環境に対する意識の向上

【目的】

市民の環境に対する意識向上を目指す。

【具体的なアイデア】

- エコマネーの導入
- 「6R」コンテストの実施
- 里山や竹を使った環境教育の実施

